

平成22年度児童生徒の体力・運動能力調査結果について

1 調査の概要 (参考資料 1 p)

- ・調査対象：全公立小・中・高等学校（小学4年生以上、370校、89,322人）
- ・調査内容：新体力テスト（8項目）、生活調査（6項目）

2 体力合計点 (参考資料 6～7 p)

- ・8項目の記録を得点化した体力合計点（80点満点）はすべての校種で男女とも昨年度を上回った。

	H21年度		H22年度	
	男	女	男	女
小学校	55.79	55.80	55.99	55.88
中学校	42.23	48.32	43.12	48.71
高等学校	54.73	51.27	54.99	51.79

3 生活調査結果

(1) 運動部やスポーツクラブの所属状況 (参考資料 8～9 p)

- ・所属している者の割合は、全般的に男子が高い
- ・すべての校種で男女とも「所属している者」が体力合計点で高い傾向

(2) 運動・スポーツの実施状況 (参考資料 10～11 p)

- ・週3日以上実施すると答えた者の割合は、全般的に男子が高い
- ・すべての校種で男女とも「週3日以上実施している者」が体力合計点で高い傾向

(3) 1日の運動・スポーツの実施時間 (参考資料 12～13 p)

- ・2時間以上と答えた者の割合は、全般的に男子が高い
- ・すべての校種で、男女とも「1日2時間以上実施している者」が、体力合計点で高い傾向

(4) 朝食の有無 (参考資料 14～15 p)

- ・毎日食べると答えた者の割合は、全般的に女子がやや高い傾向
- ・男女とも「毎日食べる者」が、体力合計点は高い傾向

(5) 1日の睡眠時間 (参考資料 16～17 p)

- ・男女での大きな違いはみられないが、学年の進行にともない睡眠時間が減る傾向
- ・小学生については、「6時間未満の者」が、体力合計点は低い傾向

(6) 1日のテレビの視聴時間 (参考資料 18～19 p)

- ・男女での大きな違いはみられないが、高校生で「視聴時間の短い者」が、体力合計点はやや高い傾向

4 「本県の平成22年度」と「本県の平成21年度」の比較 (参考資料21 p)

<体力・運動能力> 【小学校：8項目 中・高等学校：9項目】

男子：78項目中、47項目で昨年度を上回り、30項目で下回った。

女子：78項目中、47項目で昨年度を上回り、29項目で下回った。

5 運動・スポーツ実施頻度の年次推移 (参考資料 22 p)

小中高校生を通して、運動・スポーツを週3日以上実施する割合は、男子は女子に比べ高い割合で推移し、中学生では男女ともに高い傾向が見られる。